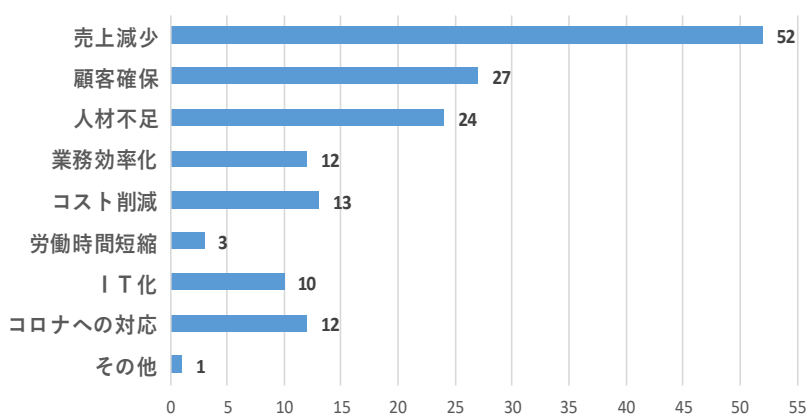


調査対象：高知市中心商店街及び周辺商店街の各商店街振興組合及び事業者

調査月：令和4年8月～9月

調査回答数：62事業者（配布数：114事業者／回収率：54%）

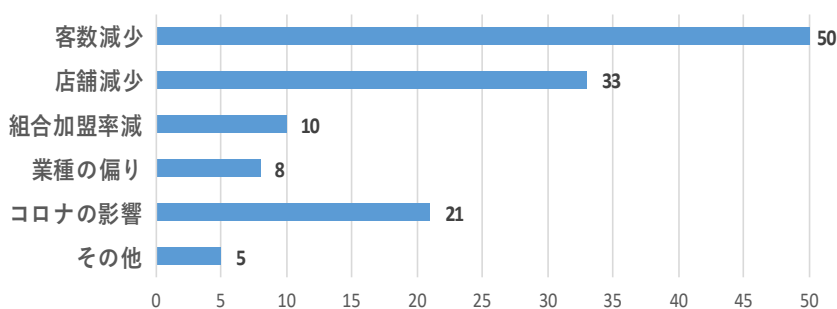
Q1.店舗の現状と課題（複数回答可）



【その他意見】

- 県外客の購買力の低下による商品販売委託先（ホテル、ステーション等）の売上減少

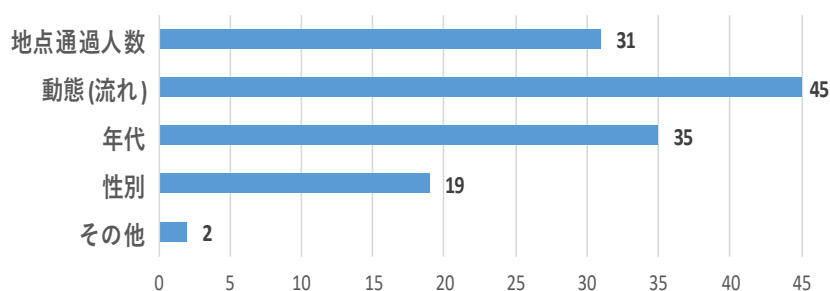
Q2.商店街の現状と課題（複数回答可）



【その他意見】

- 組合が実施する物事に対して、個店の理解を得られない
- 基本的なインフラ整備への対応（道路補修、ベンチ・街路灯の修繕、樹木の剪定）。収入の減少で対応が困難
- 喫茶店やパン屋があるといい
- 組合費、アーケード管理費の未収金対応（払えない、払わない両方）

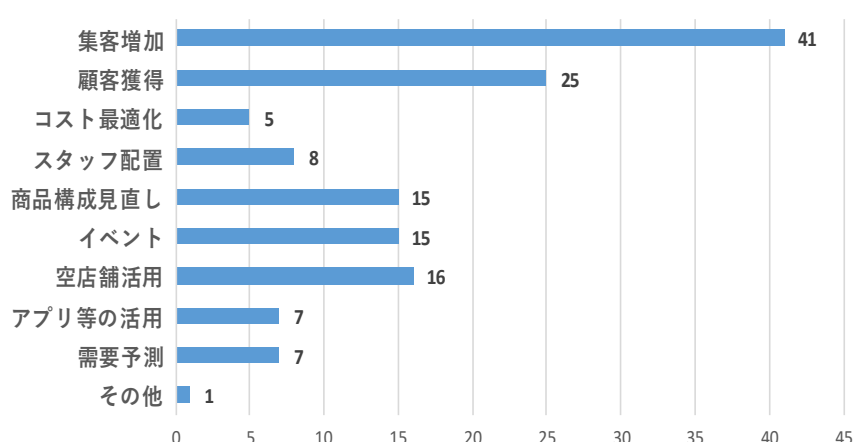
Q3.システムの導入で活用したいデータ（複数回答可）



【その他の意見】

- データをすぐ活用できなくてもリアルな数、性別を知ることが重要
- 滞在時間

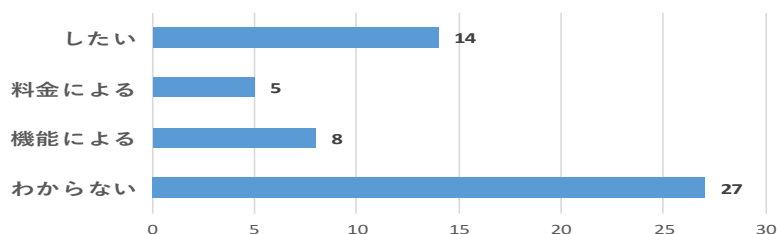
Q4.データを活用して取り組みたい内容（複数回答可）



【その他の意見】

- 可能な限りのビッグデータの提供と利用

Q5.需要予測などに活用可能なシステムができるなら利用したいか



【わからないと答えた方の理由】

- 業種が飲食ではないため、どこまでつなげられるか不明(土地活用としての利点もありそう)
- 利用できる店舗がなさそう
- 組合としてはいらない
- 業種的に目的を持って来店するので通行量や天候のデータでは判断しづらいため
- 通りがかりで入る方が少ないため
- 固定客が多いのでデータ分析はあまり関係がないように思う
- シャッター街になっているのでデータの必要性があるかわからない
- 今のところ必要性を感じていないため
- コロナに関する動向が読み切れぬ以上、精度にかけると思うので
- 提供していただけるデータが明確にわからないので

Q6.その他検討が必要だと考える事項（自由記載）

- 観測地点の検証、大きな人の流れを全体で確認、商業以外での活用
- 商店街の若返りを考え空き店舗をなくすようにしたらいのでは
- 分析システムが有料なのはかまわないが、計測データには、誰でも自由にフリーでアクセスできるようにして欲しい。経営に余裕のある企業・店舗様は多くないと思うので、データを自由に活用できないのであれば、システム導入の意味はないと感じる
- キャッシュレス、FAXレスに取り組み、可能な限りデジタル化を推進し、運営と古い事務作業を効率化したい
- アーケード全体を活性化してもらいたい
- 魅力のある店舗導入
- 駐車場の無料化
- 老若男女が集まれるイオンのような複合商業施設のようなアーケードにしてほしい。イオンにばかり人が流れる
- 商店街業種、隣接する商店街との連携により買い物の成り立つ商店街のあり方
- 通行量調査はよく行われているが、活性化にあまり役立っているように思わない。（特に私たちの商店街に）
- 空き店舗への事業者誘致